



日本医療機能評価機構認定病院

美山だより

理 念

よき医療とやすらぎの環境

第46号
2019.3



社団医療法人 啓愛会
美山病院

〒023-0132 奥州市水沢羽田町字水無沢495-2

TEL 0197-24-2141

FAX 0197-24-2144

URL <http://www.keiaikai-miyama.jp>

美山病院の基本方針

- 1・地域医療に貢献し、すべてのサービスに誇りと責任を持ち愛される病院になります。
- 2・医療人としてよりよい医療や看護が提供できるよう自己研鑽します。
- 3・安心した療養生活ができるように心の通った介護をいたします。
- 4・健全経営を確立し、常に個人と組織が向上する環境を保ちます。
- 5・病院組織をあげて医療の安全確保や感染対策に最善を尽くします

奥州市立羽田小学校の4年生が慰問

羽田小学校4年生17名がリコーダー演奏や歌を披露して下さいました。普段なかなか子供達と接する機会のない患者さんにとって、子供たちの姿を見るだけで嬉しい事ですが、手作りのカードや肩もみのプレゼントに感動し涙を流していました。



- 目** • 1P…奥州市立羽田小学校4年生慰問 • 2P…岩手保健医療大学の看護学生臨地実習
- 次** • 3P…四季折々の壁の装飾／黒田助獅子舞／感染対策の取り組み • 4P…浮腫みの原因（下肢静脈瘤）

美山病院は学生指導に愛情あふれ熱心に取り組む病院です！！



～学生から頂いた嬉しい言葉～
「また、美山病院で実習したいです！！」



2018年1月から看護学生の実習受け入れが始まり、今年度の実習も全部で4回無事に終了しました。1回の実習期間は2週間（休日等があるため実質8日間）

美山病院では岩手保健医療大学1年生と2年生、計24名（1回の実習では6名）の学生を受け入れました。実習とは「学校（講義）で学んだ知識・技術・態度を実際の病院（看護場面）で統合させて学ぶ」ことあります。また、何より実習によって「看護師になるための看護の心を養う貴重な場」であると考えております。将来、看護師になるために学生は病院での実習は必須であります。また、避けて通れない関門であるのと同時に乗り越えなければならない大きな壁でもあると言えます。実習は1人の学生が1名の患者さんを1対1で受け持つて頂いております。学生からは「学校では学べない多くのことを学べた」「患者さんに褒められ、励まされたことが嬉しかった」「早く看護師になりたいと思った」など実習を通して貴重な学びや感動を得ています。しかし、時には実習中自分の技術・知識不足で悔しい思いや辛い体験をすることもあると思いますが、貴重な経験を成長の糧として頑張って行って欲しいです。目標に向かって一歩一歩積み重ね、地道な努力を欠かさないで行って欲しいと思います。また、実習を通して担当していた患者さんからは「いつも側にいてくれてありがとうございます」「元気をもらいました」「実習が終わると寂しくなります」など多くのあたたかい御言葉を頂き、心の琴線に触れる思いであります。そして「あの子達は頑張っているのかしら」「元気でやっていますかね」など尋ねられ学生との実習を懐かしく思い、話す日があります。8日間と短い期間ではありますが掛け替えのない存在になっています。実習を通して患者さんの笑顔、学生の笑顔、美山病院職員の笑顔が多く見られます。**「また、美山病院で実習したいです」**学生から頂いた嬉しい言葉です。教え教わる共存共栄の考え方。支え、支え合い、支えられる。皆の和を大切に美山病院職員一丸となって今後も実習指導に取り組み、よりよい病院作りを目指していきたいと思います。

臨床実習運営委員会 伊藤直樹



2018年1月からスタート 岩手保健医療大学1年生と2年生、計24名（1回の実習で6名）の学生を受け入れる

季節に合わせた壁面作り



4月



6月



9月



1月

3 病棟では患者さんが、「季節を感じながら心と体がリフレッシュし生活が出来るよう支援する」。を目標に雰囲気作りを提供する事を目指して、病棟全体でレクリエーション活動に取り組んでいます。月のレク行事に合わせて患者さんと制作する時もあります。作り終えると「楽しかった」「きれいにできた」と喜んでいる患者さんもいます。毎月壁面をかえることで患者さんが、季節会話によってコミュニケーションがよりよく出きる事を願い頑張っています。

今年も獅子舞が当院へ訪問



黒田助獅子舞の演舞披露が行われました。

刀を持った人間と獅子の戦いを盛大に表現され、その迫力に皆圧倒され見入っていました。健康寿命を願い、頭をかじってもらう瞬間はびっくりされた方、笑顔の方、困惑される方と様々な表情がありました。縁起物に触れる貴重な体験となりました。

ICTニュースを毎月発行して感染予防に取り組んでいます。

どのようなときでも、標準予防策が基本
ケア時はマスクを着用する。
口腔ケアなど飛沫が発生する
ケア時はPPEの追加をする。
原式アルコール製剤による手洗衛生を徹底する。

※ICTとは(インフェクション・コントロール・チーム)の頭文字をとったもので、病院内のすべての感染対策を組織横断的に行うチームです。

インフルエンザの流行シーズン真っ只中の場合はこのような事に注意します。

インフルエンザの感染経路は、感染者の咳やくしゃみによって飛散した飛沫がほかの人の呼吸器に侵入して感染する飛沫感染と、手指や環境中のウイルスに触れたことによる接触感染の2つがあります。

インフルエンザ対策は、院内に持ち込まない・広げないことが重要です。



まだまだ流行中です。

- こまめな手洗い(石鹼と流水でしっかり)



- 咳エチケット(咳をするときはマスクやハンカチで口を覆う)



- 予防接種(効果が現れるまで2週間程度かかるので早めの接種を行う)

Lymph Info～ vol,3

下肢静脈瘤について

こんにちは！美山病院リンパ浮腫外来です！

前回、前々回『リンパ浮腫とは』『リンパ浮腫の治療について』掲載しました。3回目の今回は、リンパ浮腫よりももっと身近な浮腫みの原因である、“下肢静脈瘤”についてお話ししたいと思います。

こんな血管、膝の裏にありませんか！？これが静脈瘤です。

下肢静脈瘤とは、静脈内にある血流を支える弁が壊れ、足の血液が停滞して溜まり、足の静脈血管が浮き出て目立つようになった症状の事です。

Q1 症状は？

A1 美容的な悩み(外見上)、**下肢が浮腫む**、重怠い、疲れやすい、立っていると痛みがある、夜間のこむら返り等です。



↑網の目状静脈瘤 ↑クモの巣状静脈瘤

Q2 原因は？

A2 **立ち仕事、妊娠、肥満、加齢、遺伝(70%)**など。

Q3 合併症は？

A3 下肢静脈うつ滞症候群（皮膚の萎縮、皮膚炎・湿疹、色素沈着、**下肢潰瘍**、出血、蜂窩織炎）
その他の合併症（静脈瘤内血栓、血栓性靜脈炎、肺塞栓症など）
(皮膚の潰瘍がみられると他の合併症の併発も多くなります)

Q4 治療法は？

A4 保存的治療⇒弹性ストッキングなどによる圧迫療法

(皮膚の状態や症状によっては、圧迫療法は見合わせた方がよい場合もあります。)

外科的治療⇒レーザー治療、ストリッピング手術、硬化療法など

下肢静脈瘤の治療では完治は難しく、体质によっては外科的治療を行った後でも再発が起こることがあります。
早めに専門家に相談され、合併症が出ないうちに治療されることをお勧めします。



下肢静脈瘤などの静脈性浮腫のケアもリンパ浮腫外来で受ける事ができます！

参考引用文献：下肢静脈瘤（監修→柿木英佑・柿木外科クリニック ナック商会）